



西中学校だより

令和5年1月17日
東久留米市立西中学校



3 学期を迎えて

校長 薮野 勝久

新しい年を迎え、いよいよ令和4年度の最終学期である三学期がスタートしました。保護者・地域の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

冬休み中も、大きな事件や事故に遭遇することもなく、無事に始業式を迎えることができましたことをまずは御報告申し上げます。

さて、本校教育活動の一年を振り返ると共に次年度の計画を作成する時期となりました。先日お伝えいたしました保護者を対象とした学校評価（西中Webサイト参照）と真摯に向かい合い、現在次年度の教育計画を作成しております。

現在3年生は、今月22日の私立入試、26日の都立推薦入試に向け、真剣そのものといった態度で毎日過ごしております。I組を含め、もう既に進路先が確定している生徒も若干名おりますが、ピリッとした緊張感漂う雰囲気の中、毎日の授業が進んでいます。

2年生も、次年度の入試に備え、進路指導の一環として進学指導に入りつつあります。特にWebでの出願やスピーキング・テストといった新たな制度は生徒のみならず、保護者の皆様にとっても心配の種となるのではないのでしょうか。

1年生は今週初め（16日月曜日）、予想だにできなかったインフルエンザの拡大がみられ、B、C、D組それぞれが5日間の学級閉鎖となってしまいました。朝のあわただしい中の急な判断でしたので、5日間分の課題も用意できないまま下校させました。感染していない生徒へはタブレット端末を持ち帰らせ、毎朝の健康チェックと学習課題の提示を、タブレットを活用して行う予定です。

ところで本校では、3年前から「評価の研究」に取り組んでまいりました。分かりやすく言えば、本校Webサイトでもお示しいたしました国の評価の考え方、これを更に発展させた研究と言えます。評価とは例えばキャッチボールをして「いいね、その調子」といった声かけや「小テストでの結果」、或は「期末考査や学年末考査の結果」も評価ですし、広い意味では通知表の「観点別学習評価 a,b,c」や「評定 5,4,3,2,1」なども評価といえます。通知表は、学期ごとの総合的な評価なので「総括的評価」と呼びます。

文部科学省は「学期末や学年末などの事後での評価に終始してしまうことが多く、教科の結果が児童生徒の具体的な学習改善につながっていない」と指摘し、我々教師にもっと学習に役立つ評価、「学習のための評価」を工夫しなさい、とっています。

この指摘は、例えば、小テストを授業時間に受検し、その1時間で学んだことがどれだけできたのかできなかったのか、といったことが生徒本人の到達度理解に役立つようにしなさい、そして、到達目標と自身の到達度の差を学習に役立てなさい、つまり**学習のための評価**として活用しなさいということの意味します。最終的には各学期末に総括的評価を算定し、保護者の皆様に通知表としてお伝えする義務が学校にはあるものの、学んでいる途中の**形成段階**に行う小テストの得点等（これを**形成的評価**と呼んでいます）を成績算出のためにパソコンに入力して評価を出すのはおかしい、と指摘されていると考えています。この小テストはあくまでも、生徒が自身の学習を振り返る資料にしなさい、と言われてしていると捉えています。

また、ノートを、期限を切って提出させ、きちんと書いてあるかどうか、或は期限を守ったかどうかを点数化し、総括的評価算出のためにノート点として活用するのはおかしくありませんか、との指摘もあります。**教科における学力に「期限を守る」とか「きれいに書いてある」といった学力はありません。**

こうした考えの下に3年間、学習のための評価の研究を続け授業の改善を図ってまいりました。そして2月下旬に市内中学校の先生方に研究成果を報告する予定です。学力がすぐに入試などに効果を発揮するということはないかなありませんし、それは考えにくいのですが、生徒の授業における様々な発言内容や、考査の解答欄における空白の少なさ、レポートの類の出来具合など、様々な変容は見られるようになってきました。今後さらに授業改善を図りつつ、生徒の学力向上に努めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本年も何卒、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

輝け！ 西中 部活動の活躍！

(敬称略)

【ハンドボール部】

第31回 JOC ジュニアオリンピックカップ
ハンドボール大会 (女子の部) 東京選抜
大会優秀選手

準優勝

普久原朱怜

第31回 JOC ジュニアオリンピックカップ
ハンドボール大会 (男子の部) 東京選抜
大会最優秀選手

優勝

物井徠杏



第39回読売旗争奪中学生ハンドボール大会 (女子の部)
大会最優秀選手

優勝

物井梨杏

第39回読売旗争奪中学生ハンドボール大会 (男子の部)
大会最優秀選手

優勝

高橋諒汰



第26回四日市ドームカップ
中学生ハンドボール大会 (女子の部)
第26回四日市ドームカップ
中学生ハンドボール大会 (男子の部)

優勝

準優勝



【女子バレーボール部】
東久留米市民 中学生大会 (女子の部)

準優勝



コロナ禍でも頑張っています！



【八の字跳び大会 (生徒会企画)】



【研究授業 (3年英語科)】



【進路研修会 (I組)】



【3学期始業式 (ハンド部表彰)】